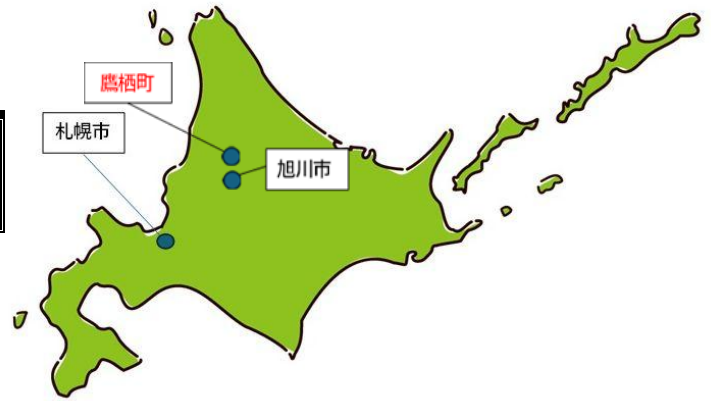


## 終わりになき図書館ジャーニー vol. 19



### 鷹栖町図書室

4年ぐらい前、上川管内のある司書さんから「加藤さん、鷹栖(たかす)に是非行ってみてください」と言われました。ずっと気になっていたにも関わらず、なかなかタイミングが取れない。気分的にある程度「熟成」してから行こうと思っていたのでしょう。この司書さんが薦めるのだからと期待もしていました。

旭川からバスで往復できます。片道 40 分ほど。経路がいくつかあるので、移動時間が微妙に違います。ほぼ 1 時間に 1 本のバス本数は私にはとてもありがたいです。

人口は 6400 人ほど。まさに旭川市のベッドタウンでしょう。地形は盆地型。その昔、トンビ、ハイタカやオオタカなど大きい鳥が生息していたことが地名のルーツになっているそうです。

北 1 条 2 丁目という停留所で下車すると目の前に「鷹栖地区住民センターふらっと」という公共施設があります。この中に鷹栖町図書室が入っています。

ちょうどお昼どきに到着してしまったので、いつものようにランチ。図書室の並びにあるお寿司屋さん。しかし豚丼など定食もいろいろあって選ぶのに悩みます。地方のお寿司屋さんはよくお寿司以外もメニューにあります。地元の人たちが集う食事処。どの町に訪れても同じような店に入っています。そこで会話を聞くのが楽しかったりします。

SNS でどのような活動をしている図書室かは知っていましたが、実際に訪問すると予想を遥かに越える魅力がありました。

さて図書室へお邪魔すると、入ってすぐに「鷹栖町本棚ルー」というコーナーが。町民がルーで展示を作る企画。お邪魔した時はお母さんの選書による展示。ご自身が「小さいころ読んでもらった本」「小中学生の時に好きだった本」「子育ての時に読んだ本」など。館内から選書。せっかくなのでお子さんにも POP を書いてもらいます。

親が選んだ絵本にお子さんが「この本知っている！」という会話が盛り上がる。司書も会話に加わりコミュニケーションはさらに膨らみます。

そして来月このコーナーの展示をする方が視察に来て、過去の展示すべてがファイリングされているので、自分ならどんな展示をやろうかなと、そのファイリングから想像していきます。

地域資料は手前目立つところに鷹栖町関連。裏手から壁に上川管内や北海道全体の資料が配架されています。行政資料も充実していて町のことがとても調べやすい。

窓際にはソファタイプ椅子それぞれに抱きクッションが。座ってみましたよ。もちろん快適！このような図書館が我が家の近所にあつたらなと思いました。いつも寝てしまうでしょう。

図書室の外側には教育委員会主催による子供達が製作して応募したPOPコンテストが開催。このPOPテーマは書籍に限らないので「かぼちゃのベタベタ焼き」の食べ方、子供の手型でタイトルはもちろん「て」、「大ピンチずかん」の表紙を再現した作品も掲示していました。

大人向けイベントも多く、講演会、演奏会など多岐に渡ります。例えば「音楽のある図書室」のイベントでは住民でフルートふける方がいれば吹いてもらうなど。常に町民を巻き込んだ催しが行われているのが鷹栖町図書室です。

「図書館」になっていないのですが、いずれは「図書館」に変わるような情報もちらっと耳にしました。楽しみです。

児童書の配架方法もいろいろ工夫しているので、是非訪れてみてください。

2024年11月訪問

加藤 重男